

運営会議 (旧 まちの課題整理プロジェクトチーム) における
課題整理状況
(第38回 全体会 資料)

2022/6/10

分冊④

【身体障がい者・知的障がい者】

地域生活移行推進プロジェクトチーム】

- ・第34回全体会(令和2年6月)にてプロジェクトチームより地域生活支援拠点に関する提言書を提出。令和3年4月、札幌市に地域生活支援拠点が設置される。設置後の検証・検討の場について検討することが承認される。
- ・第36回全体会(令和3年6月)にて、身体障がい者、知的障がい者の地域移行に関する課題の抽出を専門部会、各地域部会で行うことについて承認。課題抽出を依頼します。

【精神障がい者地域生活移行推進プロジェクトチーム】

- ・平成30年度末でプロジェクトチームを終結。
- ・令和3年9月より札幌市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討会にて課題検討を継続。

※課題No. 下の () 内は課題提出年度

No. ねらど (年度)	じれい 事例、問題提起、困りごと	かだい 課題
れい 例	だれ なに こま 誰が何を困っているのか? ○○が○○ ○○という事例	○○という課題がある ○○が必要
35 (H25)	ひとりぐらし のふ あん ○一人暮らしの不安 ひとりぐらし のほじ これから一人暮らしを始めようとする人たちが持つ不安に たい ひえん 対してどのように支援をしてゆくのか。長い間、入所施設や おやもと ながいあいだ にゅうしょしせつ 親元で暮らしていた障がい者が、これまで経験したことのな ひとりぐらし はじめ ようする際、少なからず不安を覚える い一人暮らしを始めようとする際、少なからず不安を覚える そろぞう かた とく じもしょせいかつ であろうことは想像に難くない。特にその日常生活にさまざまな しょくん ひとつき しりょう ぱい 支援を必要とする障がい者の場合はなおさらである。 1ヶ月程度の「宿泊体験プログラム」への助成制度や、家具 び ほしょくにんふくわく たんきちんたいまんしょん かつよう 設備があり保証人不要の短期賃貸マンションを活用したア とせ いいかづ たいけんにゅううしまんじゆく じっし パート生活の体験入所支援等を実施しているところもある。 ちいきせいいかつ たいけん む しょくん しゃ 「地域生活の体験」に向けての支援が、障がい者のみなら かぞく ふあん けいげん やくだ おも ず、その家族の不安を軽減することに役立つと思われる。(東 区18)	ひとりく はじ ひと ふあん かいじょう しく 一人暮らしを始める人たちの不安を解消する仕組みについて けんとう 検討する。

運営会議(旧まちの課題整理プロジェクトチーム) としての見解	結果	カテゴリ
<p>誰が 何を いつ どのように</p> <p>【課題整理済】 住まいに関するプロジェクトチームで検討。及び、運営会議で検討中の身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチームができたらそちらでも検討をすることにする。</p>	<p>運営会議(旧まちの課題整理プロジェクトチーム)の見解を受けた結果、〇〇部会による結果や協議会での議論の結果などを記載し、全体で共有する。</p>	
<p>※住まいに関するプロジェクトチーム(平成29年6月22日) 運営会議から上がってきたこの課題について共有。今後プロジェクトで検討していく課題として共有する。</p>	<p>・平成30年度 身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチームが設置。 【第34回自立支援協議会全体会】 ① 身体障がい者・知的障がい者地域生活移行プロジェクトチームより地域生活拠点に関する提言について審議。全体会の委員全員から承認との回答があつたことから、地域生活拠点に関する提言は自立支援協議会の委員の総意と判断し、自立支援協議会から札幌市に対し、地域生活拠点に関する提言書を提出することとする。 ※書面決議書提出者22名。うち、承認22名、不承認0名。</p>	主: 住まい 揭載: 地域移行
<p>【参考】 ② 令和3年4月。障がいのある方の高齢化・重度化や「親亡き後」に備えるとともに、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制の整備を目指し、「地域生活支援拠点(以下、「拠点」という。)」の整備について、拠点に必要とされる機能を市内の既存事業所等が分担する形で担う「面的整備型」により、札幌市における拠点が整備された。</p> <p>【令和3年度】 No. 6の記載と同様</p>		

No. ねらど (年度)	じれい 事例、問題提起、困りごと	かだい 課題
れい 例	だれ なに こま 誰が何を困っているのか? ○○が○○ ○○という事例	○○という課題がある ○○が必要
69 (H26)	さつぼろしない きんこう う い にゅうしょしせつ み 札幌市内、近郊で受け入れてもらえる入所施設が見つけられない。(相談) こへつ ※個別ケースのため詳細は記載しません。	にゅうしょ しせつ み 入所できる施設が見つけられない にゅうしょしせつ こうか てき かつよう りょうしゅ じゅんかんし す て む 入所施設を効果的に活用するための利用者の循環システムが必要では? 地域に出られる人は出し、地域では難しい人を一定期間施設で見ていくという流れが作れたら助かるが・・・。

運営会議(旧まちの課題整理プロジェクトチーム) としての見解	結果	カテゴリ
誰が 何を いつ どのように	運営会議(旧まちの課題整理プロジェクトチーム)の見解を受けた結果、〇〇部会による結果や協議会での議論の結果などを記載し、全体で共有する。	
<p>【課題整理済】</p> <p>触法ケースは、障がいだけの問題ではない。司法は、障害者に依頼してくる。入所施設だと、受け入れは定員がいっぱい。発達障がい者支援手法開発会議にお願いしてもよいのではないか。</p> <p>入所施設からグループホームに移行しても、高齢になって施設に戻ることがあるので、介護保険に繋がることも必要。地域での受け皿が無いかから、入所施設が必要になる。入所施設からの地域移行について、今後の取組をどのようにするか。次年度はアセスメントから実施したい。</p>	<p>・身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチームにて課題検討。</p>	<p>主 : 社会資源 掲載 : 地域移行</p>
<p>【令和3年度】</p> <p>身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチーム設置。</p>	<p>・令和3年4月。障がいのある方の高齢化・重度化や「親亡き後」に備えるとともに、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制の整備を目指し、「地域生活支援拠点(以下、「拠点」という。)」の整備について、拠点に必要とされる機能を市内各存事業所等が分担する形で担う「面的整備型」により、札幌市における拠点が整備された。</p>	
<p>【令和3年度】</p> <p>・第36回全体会(令和3年6月)</p> <p>身体障がい・知的障がいの地域生活移行に関する課題についてどのようにしていくか、運営会議でどのように引継いでいくか、具体的に検討していくことを承認。</p> <p>地域生活支援拠点の検証・検討の場、課題についての報告の場については、札幌市で検討し報告する予定と確認。</p> <p>・第37回全体会(令和3年12月)</p> <p>協議会運営会議にて、各専門部会・地域部会へ「身体障がい者・知的障がい者の地域移行に関する課題」の抽出依頼を行うことを確認、依頼を実施したことを報告。抽出された課題について、各部会で解決に向けて取組みが継続できそうな事は継続、解決が難しい場合は運営会議に報告し、運営会議で解決へ向けての取組みについて検討していくことを確認。</p> <p>・地域生活支援拠点検証委員会に係る準備会議が令和4年3月30日に実施された。</p>	<p>・身体障がいの地域生活移行に関する課題についてどのようにしていくか、運営会議でどのように引継いでいくか、具体的に検討していくことを承認。</p> <p>地域生活支援拠点の検証・検討の場、課題についての報告の場については、札幌市で検討し報告する予定と確認。</p>	

